



**巻頭記事** 鳥取県西部中小企業青年中央会次年度会長決定!

## 2月例会開催

2月例会担当委員長の想い

自然文化発掘委員長 須山 裕文

鳥取県中小企業青年中央会35周年記念事業開催!

連載記事 **ススメマスイ!**

**特集** 業あり西部の躍動人

カーオーディオプロショップとは…

(株)ウェブトゥポート 山本 克美

安さと小回りでお役に立ちます!

うえだ企画 上田 康文

ショーバイ・商売

小林 慎一OB(アクティブ・プロ)

いわせてごしない! ~副会長編~

監事好評

3月例会への想い

政治行政委員長 永田 健司

発行人 / 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 増井 幸一

編集責任者 / 担当 副会長 河津 慎二 制作・編集 35期広報委員会 / 委員長 小川 敦弘 印刷所 / 東京印刷(株)

# 鳥取県西部中小企業青年中央会次年度会長決定!



北口 智明 会員(平成14年1月(平成13年度)入会)

### 略 歴

平成15年度 30周年記念事業委員会 副委員長

平成16年度 政治行政委員会 委員長

平成18年度 県出向理事

平成19年度 副会長

平成21年度 監事

この度、鳥取県西部中小企業青年中央会 第36期会長に承認いただきました北口智明です。どうぞよろしくをお願いします。

会の代表として無事に務まるのかどうか不安も多々ございますが、全身全霊で頑張りたいと思います。

思い起こせば8年前、第27期岩田会長年度に入会させていただき、私の中央会生活がスタートしました。始めて例会に参加した時のことを今でもはっきり覚えています。廻りを見渡すと貫禄のある諸先輩方ばかり、目を合わすのも恐ろしい位の緊張感漂う雰囲気、活気あふれる議論などがとても印象的でした。誰もが対等な立場で発言し、言い訳をせず一生懸命活動される姿を拝見し、先輩方に少しでも近づきたい、自

分を成長させたい、この会でしっかり勉強したいと感じました。

鳥取県西部中小企業青年中央会は「英知」「友愛」「団結」の精神のもとに、35年の歴史を積み重ねて参りました。OBの皆様が会の活動に情熱を注がれ、長年築いてこられた伝統を大切にしていかななくてはならないと考えます。35年の節目の年、増井会長年度も充実した事業・活動をされておられます。私も次年度会長として、40期にむけて新たなスタートをきる為に着実に準備を進めさせていただきます。そして会員の皆様と全員で一丸となり、精一杯頑張っけてゆく所存です。どうぞ宜しくお願いします。

# 2月例会開催

温故知新～「地元の歴史に見るリーダー像」～

平成22年2月16日(火) 米子市社会福祉総合センターふれあいの里にて、2月例会が開催された。



冒頭の会長挨拶は「10年前の25周年記念事業のことを今でもはっきりと鮮明に覚えています。それは精一杯みんなで頑張ったからだと思っています。35周年事業も皆さんに支えられながら全力を尽くして成功させ、次の5年、10年に繋がる心に残るものを一緒に作っていきましょう。」と語られた。

委員長タイムでは地域ビジョン山本委員長から、社会人としてのマナーについて「上座・下座」、「箸の使い方」など知っているようで意外と知らなかったマナーを紹介いただいた。



続いて河津副会長が議長に選出され、次年度(第36期)会長を決める臨時総会が



行われた。指名推薦されたのは、北口智明会員。満場一致で「異議なし!」の声が上がり、めでたく次年度会長が承認された。北口会員から「自分を大きくしたいと希望や夢を持ってここまで活動をしてきました。増井会長からお話をいただいた時、正直不安はあったが今この場ではっきりと決心はつきました。後ろを振り返らず、36期のことを真剣に考えてこれから頑張っていきたい。」と熱い決意を語られた。



本日のメインテーマの「地元の歴史に見るリーダー像」は、パネラーに大山寺住職大館禅雄氏と元米子市史編纂委員 後藤俊夫氏を迎えて行われた。

地元の歴史上の人物をご紹介いただき、地元の歴史を認識し、地元を愛する心を養う良いお話を聞くことができた。大館禅雄氏が最後に言われた言葉が印象的だった。「自然は復活できても、文化は復活できない。」1300年前蒙園僧正から始まった大山信仰は時代とともに滅亡の危機にある。地元人の我々が歴史ある文化を継承していく努力をしていかなければならないと強く思った。(記事:遠藤)

## 2月例会担当 自然文化発掘委員会委員長の想い



自然文化発掘委員会 須山裕文 委員長

期待と不安の入り混じる中、自然文化発掘委員会の担当例会が開催されました。当日はセミオープン例会ということで、何名の一般参加者があるか心配しておりましたが結果、17名の方にご参加いただき委員会メンバー一同、心から感謝いたしております。時間の関係で用意していた内容の半分もご披露することはできませんでしたが、私たちの暮らすこの地域に先人の築き上げてきた素晴らしい歴史があることはご理解いただけたと思っています。今回の例会で知っていただいた事柄を是非とも大いに活用していただき、日常や仕事上での話題にさせていただけたらと思っています。

私たちは常に歴史という大きな流れの中に身を置いています。これからも先人の偉業に敬意を払いつつ、青年世代による新たな歴史を築き上げていけたらと願っています。

## 3月例会への想い

政治行政委員長 永田 健司

ウィキペディアによると『政治とは社会に対して全体的な影響を及ぼす複雑な領域であり、これは社会にとって何が問題であり、誰が人々の意志を決定し、どのような選択を採るべきかなど、あらゆる社会の問題を決定するものである。』とのこと。古代ギリシャ哲学者アリストテレスは『善い社会の実現』を語っておられます。太古の昔から語り続く善い政治について考えたいと思います。また、委員会活動の助成金制度の学びを深め経済人としての業を磨く例会にしたいと思います。どうぞよろしく願います。

## 業あり 西部の躍動人

### カーオーディオプロショップとは...

(株)ウェイブトゥポート 山本 克美 (中央会会員)



私の仕事の内容は、カーオーディオ カーナビ販売取付ですが、ハイエンドカーオーディオの取付販売も積極的にやっております。イメージで申しますと、車の中でホームオーディオを聴く、また、映画館のような音を聴く感じです。車室内で

想像を絶するサウンドを作り、LED等を駆使し視覚的効果の高い取付などをしております。大げさな言い方もかもしれませんが、『夢を売っています!』。今後も日々精進し、お客様がより感動されますようにがんばります。



お問合せ (株)ウェイブトゥポート 米子市二本木1130-1 ☎37-1678

### 安さと小回りでお役に立ちます!

うえだ企画 上田 康文 (中央会会員)



弊社はうえだ企画と社名がついておりますが、業務内容の内訳としまして企画が1割、機材レンタルが3割、イベント会場の施工が6割と、ソフト(企画)よりハード(施工)を売りにやらせていただいております。設立4年とまだまだ若い会社ですが、毎年わずかながら成長させていただいております。その要因として、安さと小回りがあると思います。安さ、もちろん金額ですが、あまり自慢できることではないですが安いです。小回り、365日24時間営業で対応させていただいております。何かイベントがしたいと思われたときは声をかけてください。安さと小回りでお役に立てると思います。



お問合せ うえだ企画 境港市上道町205 ☎42-6445



# 県青年中央会35周年記念事業開催!



ごあいさつ

鳥取県中小企業青年中央会 会長 山根宏典

鳥取県中小企業青年中央会35周年記念事業を開催いたしましたところ、御来賓の方々、OBの皆様方、また東部・中部・西部の各地区から約140名という大勢の御出席をいただきましたことに感謝を申し上げる次第でございます。第1部は神里隆様ご自身の体験を交えた記

念講演を頂き、第2部の祝賀会では鏡開きから始まり大盛況のうちに無事終了する事ができ、重ねて感謝申し上げます。西部地区会員の皆様には西部の35周年事業に向けて、より一層の精進を頂きます様お願いを申し上げます。

平成22年2月11日(木)米子全日空ホテルにおいて鳥取県中小企業青年中央会35周年記念事業・祝賀会が開催された。はじめに山根県会長から「東・中・西部が一つになることがこれからの青年中央会の生きる道」と挨拶があった。続いてティーケーエスグループ代表 神里 隆氏を講師に招いて「飲食業界最後のドン! に学ぶ」～こんな時代だからこそ



会社を発展させる方法～をテーマにした記念講演が行われた。神里氏が海外での色々なエピソードを交え、具体的な事例とともに経験したことを軽快にそしてユーモアたっぷりに語られた。会場は時々笑いありと楽しい雰囲気

に包まれながら、100を超える店舗、7つの会社を束ねる神里氏の人生観、経営論を学んだ。

約20分の休憩後、来賓、OB会員を招いて記念祝賀会が行われた。山根県会長、常田団体中央会会長の挨拶に続き、平井

烏取県知事から間もなく始まる冬季オリンピック日本代表鳥取県出身小林選手の話とともに青年中央会に激励のお言葉をいただいた。鏡割りが行われ野坂米子市長の乾杯があり、歓談の時に鳥取県中小企業青年中央会の歴史、30期から5年間を中



心にしたVTRが放映され皆がスクリーンに見入っていた。そして山根県会長から30期からの歴代県会長5人に感謝状が贈られ、歴代県会長から現役会員には大変有意義な話を挨拶として頂いた。その後も会場内は懇親ムードに盛



り上がっていたが、鳥取県中小企業青年中央会35周年の祝いと更なる発展を祈願して中村境港市長の乾杯で閉会した。(記事:景山)



## ショーバイ・商売

小林 慎一OB(アクティブ・プロ)

## ～山陰発全国へ!～

地元でありながら全国展開している、または全国を目指している企業を紹介する「ショーバイ・商売」。今回は、代表取締役 小林慎一OBの有限会社アクティブ・プロ取材してきました。

### 《アクティブ・プロ》 コンベンション事業も地産地消!

今回は全国大手と戦う中小企業、アクティブ・プロの小林OBを訪ねた。

今まで県内でも電通や博報堂等大手広告代理店の独壇場だった全国的なイベント(コンベンション事業)を、出来るだけ県内の手で実行するために活動し、また県内企業が県外展示会に出展するサポート業務もやっている。

もちろん今まで県外大手が受注してきたのには理由がある。それはノウハウだったり参加者の募集・管理を含む運営システムだったり、地方の一企業がそうそうできることではない。

「それでも、やらなければいつまでもできない。人が足りないなら集めればいい。知識が足りないなら大手から学べばいい。僕



は『どうする山陰(平成2年度・秦野会長)』で地方に対し行ったプレゼンや分析・提唱から学んだ」と言われた。

また、分野ごとに行われる全国規模の展示会(FOODEX・建築建材展等)へも、全国へ出ていく意思がなくとも可能な限り参加すべきだ、と小林OBは熱く語られた。見学に行くだけでも新しい技術や方法を知ることができ、大いに刺激になると。

またそのお手伝いができることが幸せと感じているとも言われた。

お話を伺った直後、鳥取県での漫画サミット開催についての報道が新聞記事を賑わした。鳥取県では数少ない世界的イベントだけに、ぜひ地産地消で地元貢献になればいいと思う。

(記事:桑本)



## 「いわせてごむない！」～副会長編～

「散歩をしていて、富士山に登った人はいない」

9年前の3月に入会、その時9年後の入会月に副会長としてハンサムの記事を書くとは、想像もしてなかった事です。偶然か？必然か？とにかく広報委員会に感謝。

そろそろ次年度の役員も決まってくる頃です。今後の委員長になられる方に一言。

まずは必ず「このメンバーでやりたい事」を見つける。そして「そのやりたい事の着地点は明確に鮮明にする」、僕が33期に委員長をした時、「さすが各企業のリーダーの集まり！目標決めたらガンガン行く！」そのプラン力と行動力の強さには脱帽でした。ですから目標となる着地点は1mmも崩れないで明確にすればするだけ、目標達成率は容易になります。会員の皆さんはそれだけの潜在能力を持っています。

表題に有るように、「散歩をしていて富士山に登った人はいない、富士山に登ろうと思うから登れる」のです。それに加え、必要不可欠なことは「愛」です。貴方が愛情を持って委員会のメンバー

に接すればするだけ会員の潜在能力を掘り起こす事が出来ます。「思いをかたちに」がんばれ！

次に委員会のメンバーの方には委員長が掲げた目標を「出来ない理由を考える暇が有るのなら、出来る方法を考えよ！」です。

その方法が法律に反していたり非道徳的でなければ、どのような方法でも目標を達成する事を考え実行する。またそうする事が自分の知識や経験値を上げる自分のためになると思います。自分の時間は自分の物です「嫌だな・面倒くさいな・」ってやるか「面白いな楽しいな」って思ってるか？どちらも同じ貴方の時間です・さて貴方はどっちを選ぶ？

過去は過ぎ去った今の積み重ね、創造の中でしか未来は無く、今の積み重ねが未来を作る。今しなくていつ出来ますか？ 入会当初先輩に「青年だから失敗しても取り戻せる、失敗を恐れない事が青年の特権だ」と耳にたこが出来くらい聞いた言葉です。

この大不況の今こそ「会のために」「後輩の会員のために」失敗を恐れないで突き進んでやる事が回りまわって自分のためになる。俺が俺がの我(が)で生きるより、おかげおかげの(げ)で生きたい。

(記事:手島副会長)

## ススメアスイ!



中央会の活動を会社経営のための練習として考える場面やお話を耳にします。確かに失敗しても会社の利益に大きく影響するわけでもなく、勉強の場としては最高の会であると思いますし、私もいっぱい失敗し、勉強させていただきました。

しかし、本当にそれだけでいいのかなと思うことがあります。中央会ではうまくいったのに、仕事ではうまくいかない。しっかり失敗を反省して臨むのにうまくいかない。なんてことにならないようにしなければなりません。そこで、思うことがあります。これは本番だと思いき緊張する事だと思えます。本番で失敗すればその対策は確固たるものになります。委員会運営、例会運営、35周年記念事業・式典どれをとっても会社経営に係わる皆様の仕事です。悔いの残らないように、必ず今後活かせるようにしっかり「躍動」してまいりましょう。(会長 増井幸一)

## 監事好評!

私は今期、2度目となる県出向を勤めさせていただいています。前回、今回と県出向を経験して感じることは、「小さな鳥取県の中には素晴らしい人材がたくさんいらっしゃる」ということです。県の役員会や、行事で出会う方々には、都度「刺激」と「気付き」をいただきます。皆さん積極的に思慮深く感心するところがあります。(お酒の飲み方は少々違いがあるかもしれませんが)何はともあれ、県の事業には積極的に参加されることをお勧めします。(記事:土岐監事)



## さすがゾノさん!!

第33期卒会の花園OBより高級ビデオカメラを「中央会に役立ててくれ!」と寄贈いただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

ウワサの高級車とともに記念撮影。ウワサの高級車に興味がある方は、花園OBまで...

## 2月度委員会報告

### 地域ビジョン委員会

平成22年2月8日(月)於:炳端 かば米子店 出席者/12名  
議題/・35周年記念イベントについて

### 政治行政委員会

平成22年2月9日(火)於:レストランぶどうの木 出席者/12名  
議題/・3月担当例会について ・助成金についてのまとめ

### ビジネス委員会

平成22年2月3日(水)於:㈱アド・ワーク 出席者/10名  
議題/・会員企業紹介と意見交換会について ・各下半期活動について

### 自然文化発掘委員会

平成22年2月4日(木)於:就将公民館 出席者/12名  
議題/・2月担当例会について

### 広報委員会

平成22年2月4日(木)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/14名  
議題/・ハンサム、ホームページについて  
・中央会テレビ番組について ・35周年記念誌について

### 総務委員会

平成22年2月8日(月)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/13名  
議題/・1月新年例会の反省 ・35周年事業(式典・祝賀会)について  
・会員拡大について

## 編集後記

いよいよ35周年記念事業も間近となりました。会員間の会話の中にも記念事業の話題が飛び交い、だんだん盛り上がってきている様子です。

実行委員会でも各事業の内容検討を重ね、準備・段取りなど、大詰めのところまできており、だんだん実感と緊張感がわいてきています。

3月例会開催日には、記念撮影(前写し)が18:00からあります。全会員が同じフレームに収まり、オール中央会で35周年記念事業を大いに盛り上がりましょう!  
(記事:小川)

## 3月役員会報告

3月役員会が平成22年3月1日(月)、米子食品会館にて開催されました。

当日の主な議題は以下の通りです。

・2月例会報告の件 ・3月例会開催の件 ・その他

※なお、詳細につきましては各委員長までご参照ください。

## 3月例会のご案内

と き:平成22年3月15日(月) 18:00~

と ころ:米子全日空ホテル

内 容:「使って躍動!助成金」

担 当:政治行政委員会